

鎌倉市議選、2人当選!

4/23
投開票

投票率 46.33%

保坂れい子 2,127票 (13位)
あだちなほ 1,938票 (16位)

現職の保坂れい子、新人のあだちなほが揃って当選を果たし、2期8年のバトンタッチを成功させることができました。選挙中に訴えてきた「未来につなぐ子育て・福祉・環境」の政策を具体的な施策として提案し、市民と共に活動を広げていきます。



2016年度介護保険プロジェクト報告書を発刊

2015年度に続き、介護保険制度改定の影響を調査し、前年度調査結果と比較・検証しました。緊急アクションチームも立ち上げ、2015年度から始った介護予防・日常生活支援総合事業の取り組み状況についても、県内33自治体に聞き取り調査を実施しました。これらの調査結果を持ち寄り11月には介護の日フォーラムを開催し、課題を共有しました。プロジェクトの調査・研究を地域アクションにつなげていきます。

【問合せ先】
神奈川ネット事務局 ☎ 045-651-2011
e-mail kgnet@kgnet.jp



特定非営利活動法人 経理ワーカーズ・コレクティブ あれんじ 市民事業を会計面でサポート

代表 恵濃郁子
(市民社会チャレンジ基金第3期助成団体)



経理ワーカーズ・コレクティブあれんじは、非営利市民事業の自立と継続を会計面からサポートすることをめざし、2002年4月スタートしました。当時、非営利市民団体の会計に携わっていた初代代表のもとに、学習会の講師や個別相談の依頼が多く寄せられていました。その中で会計の悩みを身近に相談できる場所があればとの声を耳にしたことが設立のきっかけとなりました。第3期市民社会チャレンジ基金の助成を受け、夢の実現に向けて一歩を踏み出し、この春15周年を迎えました。この間、設立当初の事業に加え、あれんじ冊子「会計面からサポートするハンドブック」を出版しました。数字を読み解き、事業の状況を会計の面からも把握し活動に活かしていきたいものです。皆さんから寄せられた疑問、質問にわかりやすく答えるために情報を集め共有することが、メンバーのスキルアップにつながり、ここまで進めてくることが出来ました。ここまで育ててもらったことに感謝し、これからもメンバー一同、初心を忘れず活動していきます。



▲横須賀軍港をボートで視察

2017年神奈川の基地を知るピースリングツアー 軍事によらない平和力を高める

牧嶋とよ子 (座間市民ネット)

4月21日、神奈川の基地を知るピースリングツアー「横浜・横須賀」を実施しました。

米軍物資の玄関口、横浜ノースドックからスタート、1981年タンク爆発火災事故を起こした返還地の小柴貯油施設、2015年10月に配備された原子力空母ロナルド・レーガンの母港、米海軍横須賀基地、逗子池子住宅地区など約5時間かけてめぐりました。

参加者からは、「県央コースに続き、今回の横浜・横須賀コースに参加して、県内に点在する基地や施設が分かった」

「日常生活のすぐ隣に常に戦争に結びつくものがあたり前に存在していることに気づかされた」

「多額の税金による思いやり予算の実態を知ることができた」など、様々な感想をいただきました。



見直しが進む措置入院制度 地域支援体制の整備を

県議会だより

佐々木ゆみこ (ネット宮前/県議)

精神保健福祉法改正案の審議が続いています。現行の精神保健福祉法では、自傷行為や他者へ危害を加える行為をした、もしくは行う恐れがある人を知事・政令市長が強制的に入院させる「措置入院」制度が定められています。これは、本人の同意を得ずに行われるもので、人権にも大きく関わる問題です。2015年措置入院患者数は全国で1519人、警察からの通報が最多となっており、措置制度が治安目的になっているとの指摘もあります。措置入院の恣意的運用がなされないように、曖昧な基準は明確化すべきです。

県は、2015年措置入院患者への支援のあり方ガイドラインを策定し、退院後も電話や訪問などの支援を行っています。しかし、管轄する自治体をまたいで

での情報交換が出来ないため、4月から県・政令市の間で情報の引き継ぎが出来よう見直しました。国も、自治体が一人ひとりの実情に合わせて支援計画を策定できるように検討を進めています。

退院後は、相談支援や必要な医療支援体制を整え、地域の中でその人らしく暮らすことが出来るように本人の意思や希望が尊重される仕組みづくりが必要です。現在、地域では精神障がい者を支えるための制度・施設が不足しており、人材も足りない状況です。精神病院には1兆4千億円も使われているにも拘らず、地域で支える取り組みには5百億円しか使われていません。まずは、地域にお金を回して、障がい者を支える体制を整備すべきです。

編集後記
国交省が補助金や税制優遇をして2011年から整備を進めるサービス付き高齢者向け住宅(サ高住)。一日一回の安否確認と必要に応じて介護サービスを別途提供する軽介護度者用施設として急増しているが、事故や倒産が増えている▼実際には入居者の88%が要介護認定を受けており、要介護3以上の重度者が30%だ。2015年1月からの1年半で事故3362件、死亡例も147件発生している事が報じられた▼今年度から新たなサ高住には情報公開が義務付けられるが、既存の約21万戸は対象外だ▼入居してから倒産や事故で取り返しがつかない。全てに情報公開を義務付けるべきだ。
(C・M)

神奈川ネットは、地域政党です。生活の課題は政治に直結しています。国の政党が、地方の政治までコントロールするのではなく多様な地域政党が政策を競い住みやすいまちをつくる社会をめざします。

今月の神奈川ネット

- 議員年金アクションチーム、介護保険プロジェクト: 5/16(火)
- 第2回役員選挙管理委員会: 5/19(金)
- 市民の生活・活動法律相談: 5/17(水)
- 第3回運営委員会、議員年金アクションチーム: 5/23(火)
- 第43回臨時総会: 6/3(土)